

特定非営利活動法人まなひろ

2024年度事業報告書

2024年度(2024年4月1日～2025年3月31日)



～人との違いを学ぶひろば～

人と人とのちがいがあことは、当然のこと。
お互いのちがいを認め合い、ともに生きる地域社会を目指して・・・

目次

1. 2024年度を振り返って	3
2. 運営に関する事項	
2-1 会員について	4
2-2 他団体の会員として	4
3. 事業に関する事項	
3-1 学習支援事業	5
3-2 学習支援のための地域交流事業	7
3-3 情報技術・サポート支援事業	10
4. 地域でつながる	13



2024年を振り返って

2024年度は今まで大切にしてきた地域の横のつながりで学習支援・情報支援等の活動を昨年より活発に実施できた年となりました。

デザイン研修にも力を入れて、SNS発信やWebサイト制作等で見ている人に印象に残る画像と内容の発信に努めてまいりました。

『必要な資源を自ら生み出し地域等へ還元する』当初、目指していたカタチが少しずつではありますが実現できるようになってきました。今まで少しずつ積み上げてきたものがやっと芽を出せるようになったと実感しております。

規模の小さな団体であるが故、大きなことは難しいですが、小ささを生かしてフレキシブルに課題や困難を抱えている方の歩みの伴走をこれからも継続してまいります。

理事長 木村裕之



運営に関する事項

2-1 会員について

	2024年会員 (2024/3/31現在)	2025年会員 (2025/3/31現在)
正会員（個人）	12名	13名
正会員（団体）	—	—
賛助会員	—	—

2-2 他団体としての会員

下記の団体に会員として参加しました

- ・ 横浜市鶴見区社会福祉協議会
- ・ 認定NPO法人市民セクターよこはま



事業に関する事項

3-1 学習支援事業

(情報技術を利用した学習支援・スポーツイベント・進学・就労支援を含む)

学習支援は年間40回実施しました。

利用日時は利用者の要望と当法人のスケジュールに合わせていただき、実施致しました。

従事者人数は2名、受益対象延べ人数40人です。

学習支援は個別に訪問型・オンライン会議システムをメインに実施しました。

2023年度から開始した不登校児童と保護者の支援が実り、2024年の春から不登校を脱し毎日登校していると保護者様よりお声を頂いております。

登校できるようになるまで約1年の時間を要しましたが、子どもの言葉にしっかり耳を傾け受け止め、その積み重ねが登校へのステップのひとつになったと思っています。保護者の方からは子どもが安心して登校できるようになったのはまなひろのサポートのお陰ですと嬉しいメッセージをいただいております。

また、数年前より不登校・障がいのある生徒のサポートをしていましたが、いくつかのことを同時並行で行うことに困難さがあるため、今自分がやりたいことを優先したいと、一旦学習支援はお休みしたいと申し出がありました。

外に出ることが困難であった生徒が高校へ進学し通学できるようになり、未来へ向かって意欲的に行動できるようになったことに支援者として成長を見守れたことに嬉しく思っております。

子どもたちは、それぞれの環境の中で未来をみています。

一人ひとりの想いを大切に、子ども達が描きたい未来を描いていけるよう、これからもサポートを継続してまいります。

3-2 学習支援のための地域交流事業

- ・ イベント出展回数35回
- ・ 委託販売15回

鶴見沖縄をテーマにしたハンドメイド商品を大勢のお客様に手に取っていただきました。

一部の商品が人気となり、2024年11月より他店へ卸販売もスタートしました。販売点数は多くはありませんが、鶴見沖縄を私たちに楽しく発信していけたらと思っています。

2024年は2023年度を上回る出展回数となりました。

イベントでは子ども達との関わり合いを大切にしています。対象が子どものものは子どもたちのお小遣いの中で楽しめるよう努力しています。

お財布の中身を広げて自分の所持金で欲しいものが購入できるかと一緒にお金の計算をお願いされたり、

「どっちが私に似合ってると思う？」と声を掛けられたりと、子ども向けコンテンツはいつも賑やかです。

私たちが子ども向けコンテンツで大事にしているのは
「誰もが楽しめる」という部分です。

障がいがある子ども達にも楽しんでもらいたい
その思いもあります。

車いすに乗ったままでも遊べるようにスーパーボールす
くいは設置しており、鶴見ウチナー祭で初めて車いすの
子どもが参加して下さりました。

付き添いの方に麻痺等の有無を確認して、健側側に車い
すを設置し参加されました。

少しお話を聞いたら初めてスーパーボールすくいをやっ
たとのことで、初めてに選んでいただけたことが嬉しく
もあり、何より子どもが笑顔で楽しんできたことが最
高に嬉しかったです。

表現の仕方が難しく、なかなか上手く告知ができていな
い現状があり難しい部分ではありますが、「誰でもたの
しめる」ことは今後も大切にしていきたい部分です。

経験することは財産であり、どの子にも楽しさを体験し
てほしいと思っています。

■参加イベント

生麦de日曜マルシェ
つるぎんドット来〜い!!
つくまる
鶴見ウチナー祭
鶴見臨海フェスティバル
生麦de事件DA!!
沖縄物産フェア
白幡神社夏まつり
鶴見ウチナー国際映画祭

生麦大収穫祭
下野谷まつり
生麦南仲通夏まつり
安養寺福寿弁財天仮装祭り
潮田交流プラザ秋まつり
つるみ祭りdeフェスティバル
レアールつくの盆おどり
生麦安養寺de沖縄マルシェ
Cherry Tree Festival

(順不同)



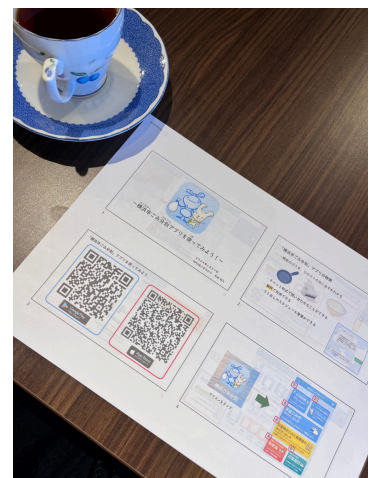
3-3 情報技術のサポート・支援事業

情報技術のサポート・支援は年9回

従事者人数は2名、受益対象延べ人は65人です。

スマホ講座は反町カフェぽらん様にて毎月第4土曜日講師として参加しています。

生活に密着したアプリのご紹介やその使い方、パソコンの使用方法についてのご相談をお受けしました。



Webサイトに関する案件5件ありました。会社や団体等がメインになります。

Webサイトは作って終わり、ではなくそこからがスタートとなります。

描きたい未来や目指すものがどのようなものであるのかという部分を時間をかけヒアリングしています。

内容も重要ですが、分かりやすい目に留まるデザインにも力をいれています。

同じ内容でもデザインが加わることで見やすさや分かりやすさがアップするのと同時に訴求力も上がりやすくなります。

情報分野はまなひろが得意とする部分でもあるので、更にブラッシュアップしていけるよう、より力をいれたい事業です。

2025年の1月からキッズ向けプログラミングスクールの後方支援をスタートしました。

子どもへの関わり方や実践方法等多方面に渡り支援を行っております。

大学の受験時の科目にプログラミング科目が入るようになり、塾でも大学受験を視野に入れたプログラミングスクールが続々開校しており、注目されている分野です。

学校が夏休みになる時期を目標に共同でプログラミングのイベント開催を計画しています。



地域でつながる

子ども食堂

株式会社木曽屋様開催の子ども食堂に協賛する形で2023年12月より参加しています。

まなひろは、食材の提供と調理を担当しています。
誰もが参加しやすいようにとの木曽屋様の思いがあり子ども・学生・妊婦さんには無償で提供されています。
まなひろ以外にもたくさんの企業・個人様が協賛しており、毎回40～50名前後の子どもたちが朝ごはんを食べにきます。

この中に、食べることに困難さがある子が実際どの程度いるかを把握することは難しいですが、地域の大人たちが見守っていることが子供たちに伝わっていたらいいなと、困ったときは声を掛けてほしいなと思っています。



鶴見区二十歳を祝う会

2023年より協力という形で参加しています。

この会は、障がいのある成人を迎える方が対象となっています。

本年度は実行委員会の方と相談し、お祝いの席で少し大人の味も楽しんでもらえたらとミューコーヒーさんに協力して頂きコーヒーゼリー50個を寄付しました。

コーヒーゼリー皆さまに大好評で、差し入れた50個全て皆さまに召し上がっていただけました。

